

第33号

令和6年3月19日

工業系高校人材育成コンソーシアム千葉会長 小野祐司
(国立研究開発法人科学技術振興機構 主任専門員)

1

令和5年度 第1回 ワーキンググループ会議について

会議の内容は、以下の通りです。

日 時：令和5年11月30日

場 所：千葉県立千葉工業高等学校

参加者：コンソーシアム運営委員、県土整備部建設・不動産業課

テーマ：次の10年に向けて、今後コンソーシアム千葉に期待すること

発表者：1.商工労働部経済政策課 2.商工労働部産業振興課産業企画室
3.商工労働部産業人材課 4. 県土整備部建設・不動産業課
5.教育庁企画管理部教育政策課 6.教育庁教育振興部学習指導課

出席者：三井化学株式会社、JFEスチール株式会社、日本製鉄株式会社、株式会社昭和電業社、千葉工業大学、千葉職業能力開発短期大学、現代産業科学館、千葉県中学校長会、商工労働部産業振興課、県土整備部建設・不動産業課、教育庁教育政策課、教育庁学習指導課、京葉工業高等学校、千葉工業高等学校、市川工業高等学校、東総工業高等学校、姉崎高等学校（事務局を除く17名）

<小野議長のまとめ>

コンソーシアムは10年を迎えました。これからの10年を考えたいと思います。少子化の影響は大きいと思います。そこで中学生にもっとものづくりについてイメージ持ってもらおうということも大事であるとのご意見をいただきました。もっとPRを充実する。それについては、企業・県・学校が一緒になって行っていくということが肝要であるということです。まだまだ魅力ある発信をしていくことが足りないのではないか。何が足りないかという、ものづくりの大切さ、おもしろさ、それにもものづくりをすることによって生活が豊かになることを知ってもらうことです。

これからの日本の繁栄には、やはり人材育成が重要であると考えています。そして、他の自治体に比べて千葉県は予算をかけていないのではないかと御指摘いただきました。

東京都立多摩科学技術高等学校の躍進をみても明らかであるが、これからはSTEAM教育を見据えた新たな工業高等学校を創るよう提言をしていきたいと考えている。従って教育委員会には予算の確保を考えてもらいたいと思います。なお、行政各課から回答していただいたことすべてのことはできませんが、大いに参考にさせていただきます。

今後ともコンソーシアムの活動に際し、御支援御協力を宜しく申し上げます。

令和5年度第2回総会は、以下の通り行われました。

期 日：令和6年2月9日

方 法：メール開催

<小野会長挨拶>

令和5年度もコンソーシアムの事業に格別のご配慮を賜り誠にありがとうございます。平成26年に発足したコンソーシアムは、今年10年の節目を迎えました。10年の長きにわたり、会員の皆様から千葉県工業系高等学校に対して大所高所からのご鞭撻を賜りましたこと大変嬉しく思っております。この間、千葉大学に飛び入学する生徒を輩出、普通科高校に「工業に関するコース」設置などの成果のみならず、各校では生徒の基礎学力の向上、研究発表、就職支援など、校長先生を先頭に改革を進めるなど現場の空気も大きく変わりました。激励を頂戴することもございました。ただただお礼を申し上げる以外にありません。本当にありがとうございます。去る11月2日、市川工業高等学校の80周年記念式典が挙行され、式典に先立ち同校体育館で生徒の皆さんに話をする機会を頂きました。

まず日本の食料自給率についての話をしました。日本の食料自給率は、38%（R4農林水産省）とされていますが、これはカロリーベースです。つまり牛肉35%、砂糖34%、大豆6%、小麦16%などに対して、生産額ベースでは途端に跳ね上がり66%となります。米97%、野菜79%、魚介52%になります。

次に「日本の総人口のトレンド」の話をしました。少子化と言われています。実際日本の人口はどれくらい減っているのでしょうか。江戸時代1200万人、明治維新3300万人、第二次大戦終戦時7200万人でした。ピークは2004年の1億2784万人でした。令和5年は1億2455万4千人で、前年同月に比べて51万7千人の減少。市工がある市川市の49万7千人が1年で減る勢いです。この先10年ほどで千葉県の人口が減る勢いです。「少子化」は、とてつもないスピードで人口減少します。

では、これからの日本はどうなるのでしょうか。日本の国力を考えてみる。少子化に加えて、高齢化が問題です。国際教養大学という地方にあるが飛躍的に伸びた大学があります。ここの学生は、1年間の留学から帰ってくると「日本はものづくりの国」と口を揃えて報告すると前学長から伺った。

大手重工、自動車会社、鉄鋼会社、化学メーカーに就職する割合がぐんと高くなるということです。若く鋭い感性で世界を眺めると日本の立ち位置が良く分かるということです。これからの日本を考えれば「強い製造業」を目指すことが肝要だと思います。多くの製造業や沢山のやりがいのある仕事があります。電力、水などの社会インフラもまさに engineering の道です。市工の皆さんが進むであろう engineering の道はこれからの日本を支え、牽引する。「ICHIKO生、日本を引っ張るってよ!」と強く思います。頑張って勉強して欲しいと話しました。

コンソーシアム会員の皆様、次の10年も千葉県の工業高等学校の発展のために引き続きどうぞよろしくをお願いします。

議事：報告事項並びに協議事項

(報告事項)

報告ア：令和5年度第2回運営委員会の結果報告について

令和6年1月23日、令和5年度第2回運営委員会をメール開催いたしました。報告事項並びに協議事項につきましては、全て承認いただきましたので御報告いたします。

報告イ：令和5年度活動報告について

- 1 令和5年度 第1回運営委員会・第1回総会

- (1) 日 時：令和5年6月6日（火）運営委員会 令和5年6月20日（火）総会
 (2) 開催方法：運営委員会は電子メール開催 総会は対面開催
 (3) 開催場所：船橋情報ビジネス専門学校
- 2 令和5年度第1回 職員研修会
 (1) 日 時：令和5年8月25日（金）参加者：29名
 (2) 開催場所：専門学校 国際理工カレッジ 6号館
 (3) 講 師：専門学校 国際理工カレッジ
 管理本部長 山中俊治 様
 Web・CGデザイン科 一島 健 様、日比野 越百 様
 (4) テーマ：学校広報におけるPower Point等の効果的な活用について学ぶ
- 3 令和5年度 第17回 高校生理科研究発表会
 開催日：令和5年9月30日開催
 開催場所：千葉大学
- 4 千葉県高等学校産業教育フェア・千葉県特別支援学校ものづくりフェア
 (1) 日 時：令和5年10月22日（日）10時00分～15時00分
 (2) 会 場：イオンモール幕張新都心
 (3) テーマ：“ワクワク感が止まらない”～専門高校・特別支援学校の学びのいろいろ～
 (4) 参加校：千葉県内産業教育関係高校（農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉・総合学科）および特別支援学校
- 5 第39回 千工研総合技術コンクール
 (1) 日 時：令和5年11月25日（土）9時30分～15時30分
 (2) 会 場：千葉県立京葉工業高等学校
 (3) 参加校：京葉工業、千葉工業（全・定）、市川工業（全・定）、清水、下総、東総工業、茂原樟陽、館山総合、天羽、君津青葉、姉崎
 （合計11校13課程10部門164名）
- 6 令和5年度 第1回ワーキンググループ会議
 (1) 日 時：令和5年11月30日（木）15時00分～16時30分
 (2) 開催場所：県立千葉工業高等学校
 (3) メンバー：運営委員と建設・不動産業課
 (4) テーマ：次の10年に向けて、今後コンソーシアム千葉に期待すること
 (5) テーマ発表者：行政6部門
- 7 令和5年度 第2回 運営委員会・第2回総会
 令和5年度第2回運営委員会、総会はメール開催として実施。
- 8 第10回 生徒研究発表会
 ・発表者：工業系高校の生徒
 ・動画公開期間：令和6年2月13日（火）～令和6年3月1日（金）
 ※「限定公開」設定としてパスワード設定して公開
 ・優秀賞3チーム：令和6年3月8日（金）～令和7年1月31日（金）予定
 ※「公開」設定としてYouTubeにアクセスする全ての人が動画閲覧可能
- 9 コンソーシアム便り
 ○第31号（令和5年 7月14日（金）発刊）
 ○第32号（令和5年12月20日（水）発刊）

報告ウ：令和5年度第1回ワーキンググループ会議の報告について

開催日時：令和5年11月30日（木）15時00分～16時30分

開催場所：千葉県立千葉工業高等学校

テーマ：次の10年へ向けて、コンソーシアム千葉に期待すること

出席者：21名

(協議事項)

協議－１：令和６年度事業計画（案）について

- 1 運営委員会、総会
 - (1) 令和６年６月開催予定 第１回運営委員会・第１回総会
 - (2) 令和７年２月開催予定 第２回運営委員会・第２回総会
- 2 事業計画
 - (1) 実践力育成事業
 - ア 令和６年９月開催予定 高校生理科研究発表会（参考）
 - イ 令和６年１１月開催予定 総合技術コンクール（参考）
 - ウ 令和７年２月開催予定 生徒研究発表会
 - (2) 情報発信・広報事業
 - ア 令和６年１０月開催予定 産業教育フェア（イオンモール幕張新都心）
 - イ 小中学校への理解促進の検討
 - ウ コンソーシアム便り発刊
- 3 職員研修 令和６年８月開催予定
- 4 ワーキンググループ会議 令和６年１１月開催予定

協議－２：コンソーシアム入会希望者について

<企業情報>

- ・企業名：有限会社 中台製作所
- ・住所：市川市本塩２１－３
- ・業務内容：神輿の製作、修復、レンタル、メンテナンス、保管神輿職人が手掛ける工芸品製作
- ・企業理念：嘉永元年に創業以来、行徳伝統の神輿づくりを受け継ぎ、現在も木地製作から鋳金具製作、彫刻、漆塗、金箔そして組立・完成までを社内一貫作業で製作でき、日本では他にない本物の神輿づくりを守っている神輿屋です。先人より受け継がれた伝統文化を時代と共に進化させ、未来へとつなげることを理念としています。

<団体情報>

- ・団体名：一般社団法人 千葉県建築士会
- ・住所：千葉市中央区中央４－８－５ 建築会館４Ｆ
- ・電話番号：０４３－２０２－２１００
- ・業務内容：会員の指導、建築士の研修、建築士の業務の強化改善、社会的活動・福利厚生事業の推進
- ・MOTTO：われらの建築は人類の幸福のための最良の芸術たるべし。
われわれ建築士は社会の発展のための最新の指導者たるべし。
わが建築士会は会員の向上のため最善の団結たるべし。

<大学情報>

- ・大学名：麗澤大学工学部 ２０２４年４月開設予定
- ・住所：柏市光ヶ丘２－１－１
- ・基本理念：キャンパスの環境保全ならびに整備は、学生・生徒・園児・教職員及び法人関係者をはじめ、キャンパスを訪れるすべての人々が、「仁草木に及ぶ」という創立者廣池千九郎の仁愛の精神に触れ、道徳心を養うことのできる環境づくりをその基本理念とする。
- ・教育理念：麗澤教育は、創立者・廣池千九郎が提唱した道徳科学「モラロジー」に基づく知徳一体の教育を基本理念とし、学生生徒の心に仁愛の精神を培い、その上に現代の科学、技術、知識を修得させ国家、社会の発展と人類の安心、平和、幸福の実現に寄与できる人物を育成する。

<日鉄テックスエンジニア株式会社>

- ・ 本社住所：東京都千代田区丸の内二丁目5番2号
東日本支店（君津地区）君津市君津1（コンソーシアム窓口）
- ・ 創 立：昭和21年9月7日
- ・ 株 主：日本製鉄株式会社（100%）
- ・ 事業内容：総合エンジニアリング企業としてあらゆる営業種目を行っている。
- ・ 経営理念：1. 信用と信頼を大切にし、社会に貢献する企業であり続けます。
2. 常に付加価値の高い技術・製品・サービスを提供し、お客様とともに発展します。
3. 変化を先取りし、高い技術力の追求と技能の向上・強化に努めます。
4. 人を育て活かし、自由闊達で活力溢れる企業風土を築きます。

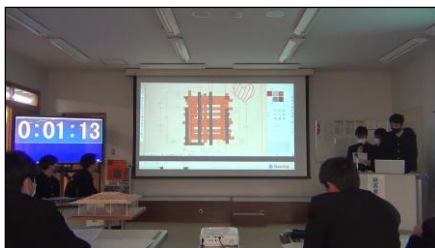
<コンソーシアム事務局からの推薦理由>

企業、団体、大学とも積極的に自ら入会を希望したことや企業理念や経営理念、団体の方針、大学の教育理念等がしっかりしていたためコンソーシアム事務局として推薦いたします。

3

第10回生徒研究発表会

第10回生徒研究発表会は、コンソーシアム千葉のホームページ上で研究動画を公開して開催しました。開催期間は、令和6年2月13日（火）から令和6年3月1日（金）までとして実施しました。今年度の優秀賞の動画は、工業系高校のPR活動の一環として令和7年1月31日（金）までの約1年間、動画サイト YouTube にて公開予定です。



京葉工業高校



千葉工業高校（全日制）



千葉工業高校（定時制）



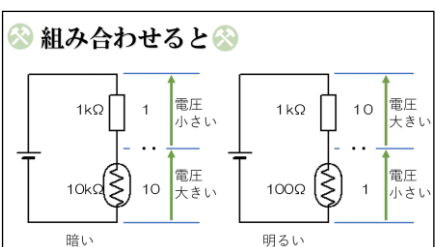
市川工業高校



清水高校



下総高校



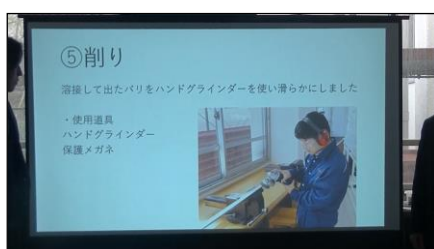
東総工業高校



茂原樟陽高校



館山総合高校



天羽高校



姉崎高校

発表内容と優秀賞は次の通りです。

番号	参加団体名 (学科・部活等)	発表主題名	参加人数	優秀賞	
1	京葉工業高校	電子工業科	自作ミニ四駆と時間測定タイマーの製作	5	
2		建設科	森の隈さん (建築家・隈研吾氏作品の調査研究)	4	
3		機械科	ハーフラックの製作	4	
4	千葉工業高校 (全)	電子機械科	レーザーハーブの製作	5	
5		電気科	回転式電光掲示板	4	
6		情報技術科	電子百葉箱の製作	5	
7		理数工学科	イオン風の発生と研究	3	○
8	千葉工業高校 (定)	工業科 機械コース	鍛造によるものづくり	3	
9	市川工業高校 (全)	インテリア科	シン金子邸プロジェクト 6人の匠	6	
10	清水高校	機械科	原動機付自転車の製作	5	
11		電気科	水中ロボットの製作	4	○
12		環境化学科	ミネラルウォーターの硬度測定	1	
13	下総高校	自動車科	3Dプリンタを使用した設計製作	1	
14	東総工業高校	電気科	レーザーハーブの製作	4	
15	茂原樟陽高校	電子機械科	大型スターリングエンジンの製作	5	○
16	館山総合高校	工業科	スマホで動くアームロボット	2	
17	天羽高校	工業基礎 コース	黒板の製作	6	
18	姉崎高校	ものづくり コース	高岡式作業台の製作	6	

工業系高校人材育成コンソーシアム千葉事務局
 事務局長 (千葉工業高校教頭) 岩井 孝二
 TEL:043-264-6251 FAX:043-268-5524